

# 10.人や国の不平等をなくそう

## 「障害のある塾生のためのキャリアガイダンス」開催

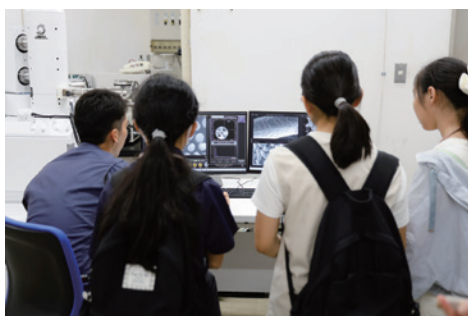
慶應義塾では、障害のある学生支援の取り組みの一環として、「障害のある塾生のためのキャリアガイダンス」を毎年開催しています。2024年10月18日、ハイブリッド形式(三田キャンパスにて対面+オンラインでの同時配信)にて、株式会社LITALICO (<https://litalico.co.jp/>)より講師を招き、一般採用と障害者採用の違い、事前準備、障害の伝え方や説明のポイントなどを講演いただきました。希望者には、ガイダンス後に個別相談も実施しました。

## 全国10万人以上の中高生女子の進路選択を応援!Girls Meet STEM Collegeに参画

理工学部は、公益財団法人山田進太郎D&I財団による、中高生女子向けにSTEM(Science, Technology, Engineering and Mathematics)領域の学生生活が体験できるプログラム「Girls Meet STEM College」に2024年6月より参加しています。

2024年8月30日、「Girls Meet STEM College」の協力を得て、中高生女子を対象にしたイベント“Girls Science Club 2024”を実施しました。実験や最近の研究の紹介のほか、メディアセンター、中央試験所の実験施設および量子コンピューティングセンターを中心に巡るキャンパスツアーと、在学生と教員に大学生活や受験勉強、学門<sup>※</sup>の選び方、留学などを自由に相談できる座談会を行いました。

※「学門」とは、“学びの庭への入口”という意味を含めた言葉です。理工学部では、入試の時点で5つの「学門」(学門A:物理・電気・機械分野、学門B:電気・情報分野、学門C:情報・数学・データサイエンス分野、学門D:機械・システム分野、学門E:化学・生命分野)のいずれかを選択します。



中央試験所の見学



座談会の様子

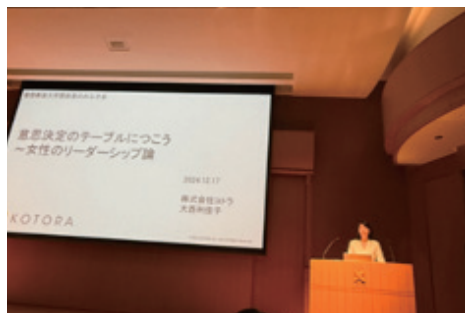
## 「女性の活躍を聞くシリーズ」講演会開催

経済学部では、専門課程における女性教員比率向上および女子学生比率向上を目的として、2021年秋に経済学部女性教員比率タスクフォースを組成し、講演会の企画などを通じて、協定環境改善の角度から教員の意識向上を図っています。2024年度は、「女性の活躍を聞くシリーズ」と題した講演会を開催しました。

2024年6月17日の第1回講演会「Finland and Equality」では、駐日フィンランド大使館書記官であるニーナ・ヴァイサネン氏を迎え、データを基に、ジェンダー平等先進国であるフィンランドの経験やフィンランド流の価値観、生き方について説明がなされました。また、多様性を重んじた組織、社会を実現していくためのロールモデルの重要性や、ジェンダー平等度が高く、幸福度ランキング、SDGsの達成度などでも常に上位のフィンランドでさえも出生率が1.3と伸び悩んでいる事実など、現在進行形の課題についても話が及びました。2024年12月17日の第2回講演会「意思決定のテーブルにつこう～女性のリーダーシップ論」では、株式会社コトラ代表取締役の大西利佳子氏にご講演いただきました。大西氏は、これまでのキャリアや起業家としての経験を基に、「意思決定」「リーダーシップ」「社会貢献」などについて語られました。本講演会は、学生や社会人にとって、キャリア形成やリーダーシップを発揮するための具体的なヒントを得る貴重な機会となりました。



第1回講演会



第2回講演会

## 授乳・搾乳・女性休憩室の整備

慶應義塾では、仕事と生活の調和の環境づくり、CARE(Consultation, Assistance, and Resources for Employees;悩みと仕事の両立支援プログラム)、Breezeプロジェクト(女性のからだ支援プログラム)およびKIDS(Keio Infant Daycare Support;育児支援プログラム)の一環として、各キャンパスにおいて授乳・搾乳を必要とする方、妊娠期・出産後・月経期・女性特有の病気・症状などで一時的な休養を必要とする教職員・学生のための環境整備を進めています。2024年度は新たに日吉キャンパスに同スペースを設置しました。



三田キャンパス休憩室



日吉キャンパス休憩室

## アンコンシャス・バイアス研修会の実施

2024年7月22日と8月2日、塾長・常任理事等の慶應義塾執行部および学部長・研究科委員長・一貫教育校長・関係部門長等の協生環境推進室推進委員を対象に、第2回アンコンシャス・バイアス研修会(=無意識の偏見をなくすための研修会)を実施しました。今回は、大空裕康弁護士(大空・山村法律事務所、第一東京弁護士会所属)を講師に迎え、無意識の言動などからハラスメントや訴訟の事案になってしまった具体的な事例を用いながら、どのようなことに気を配ることが必要かなどについて学びました。



アンコンシャス・バイアス研修会の様子

## AHEAD JAPAN主催の障害学生支援セミナーや全国大会を開催

2024年6月29日、三田キャンパスにて、一般社団法人全国高等教育障害学生支援協議会(AHEAD JAPAN)と協生環境推進室共催による障害学生支援セミナー「私立大学における体制整備—改正障害者差別解消法の施行をふまえて」を開催しました。2024年4月に施行した改正障害者差別解消法により、これまで私立大学等では努力義務であった合理的配慮の提供が法的義務になりました。さらに、文部科学省の「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第三次まとめ)」が公表され、これらの社会的動向を受けて、私立大学においても障害学生支援の体制整備を一層進めていく必要性が生じています。セミナーでは、文部科学省からの「第三次まとめ」の内容説明のほか、障害学生支援に携わっている大学教職員等によるパネルディスカッションなどが行われました。

続いて2024年8月29日～8月30日には、三田キャンパスにて「AHEAD JAPAN CONFERENCE 2024(第10回全国大会)」が開催され、全国から多くの参加者が集まり、障害学生支援に関する実践・研究の発表やネットワークづくりが活発に行われました。また、開催前日には、障害学生支援に関わる慶應義塾教職員のための特別企画として、障害学生支援の専門家や文部科学省職員による、障害のある学生への対応などに関する勉強会が開催されました。



AHEAD JAPAN CONFERENCE 2024 慶應義塾のポスター発表の様子

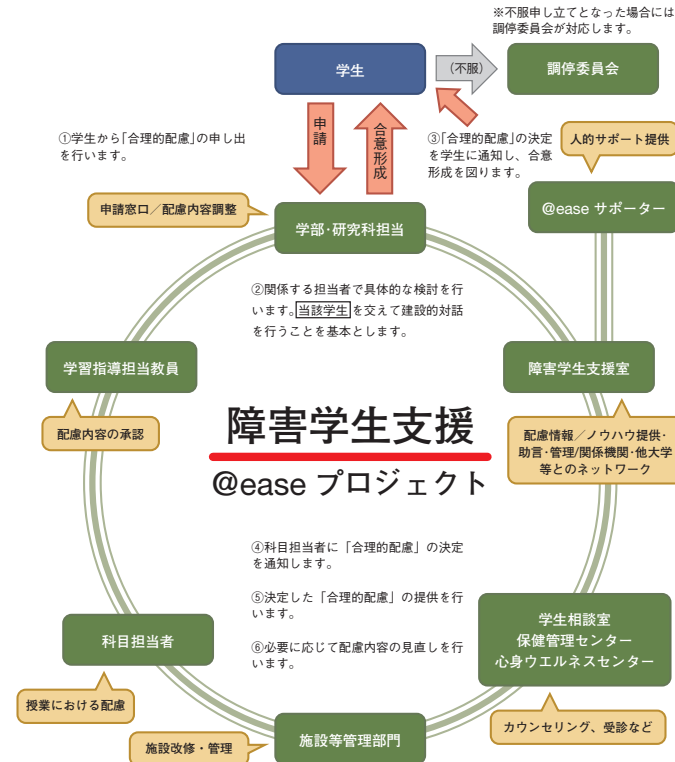
## 女性のからだ支援～Breezeプロジェクト～生理用品の無償配付

慶應義塾では、女性のからだ支援「Breezeプロジェクト」の一環として、経済状況による生活不安を抱える女子学生を対象に、生理用品の無償配付を実施しています。2024年度は、4月、7月、10月、1月の4回募集を行いました。また、生理用ナプキン無料提供ディスペンサーOiTr(<https://www.diversity.keio.ac.jp/breeze/breeze.html>)をすべてのキャンパスに導入しています。女子学生の生理に伴う心やからだの負担軽減とジェンダーギャップの是正に寄与し、快適な大学生活を送るための一助となることを目指しています。並行して専門医によるからだセミナーの開催や保健管理センターに「女性のからだ・男性のからだ相談室」を開設しています。

## 障害のある学生支援体制の整備

慶應義塾では、障害のある学生を支援するために、関係する部門が連携して取り組む「@easeプロジェクト」と名付けた枠組みを用意し、関係部門が連携し、対応を行うための体制整備を進めています。その一環として、2024年度より、在学生向けポータルサイト「K-Support」による「合理的配慮」のオンライン申請を導入しました。これにより、学生は時間や場所に制約されることなく、申請手続きを行うことができるようになりました。

### 「合理的配慮」申し出の流れ



## 伊藤塾長らがAPRU学長会議、APWiLサミットに参加

2024年6月24日～26日、ニュージーランド・オークランドで開催されたAPRU(The Association of Pacific Rim Universities:環太平洋大学協会)第28回年次学長会議に、伊藤塾長らが参加し、“Oceans: The World’s Challenges Divide Us, the Ocean Currents Connect Us”をテーマに、気候変動や海洋環境・生物多様性保全などについて議論を重ねました。年次学長会議に先がけて6月23日に開催されたAPWiL(Asia Pacific Women in Leadership)In-Person Summitのパネルディスカッション“The Role of University Leadership in Advancing Gender Equity”に登壇した伊藤塾長は、ジェンダー平等に関する取り組みを紹介し、組織のリーダーが果たすべき役割について議論を交わしました。キーノートセッション“A Conversation on Driving Change Towards Gender Equality”に登壇した奥田常任理事は、社会とともに変化するダイバーシティ&エクイティ&インクルージョン(DEI)の今後のあり方について意見を交換しました。



登壇する奥田常任理事  
写真提供:APRU

## 塾生会議プロジェクトの活動

塾生会議の提言を踏まえて提出された企画は、学内の審査委員会で審議され、採択されたものがプロジェクトとして稼働します。

### みんなで子育てプロジェクト

学生の子育てに対する不安解消や、子育てを視野に入れたキャリアプラン形成を後押しし、日本では依然として問題となっている、育児による離職率の高さの解消を目指すプロジェクトです。

2025年2月26日、日吉キャンパスにて、パネルディスカッションイベント「人生の先輩に聞いてみよう 教えて!育児とキャリアのこと」を開催し、5名の登壇者より、育児と仕事を両立する上での悩みや職場・家庭での取り組みで良かったことなど、将来に向けてのアドバイスを受けました。また、2025年3月、実際に子育てを体験する試みとして、ベネッセ日吉保育園 ([https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/facilities/area\\_kanagawa/yokohama/h-hiyoshi/](https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/facilities/area_kanagawa/yokohama/h-hiyoshi/)) での全3回の保育体験を企画し、学生11名が参加しました。



パネルディスカッションの様子

### 地方学生プロジェクト

SDGsゴール10「人や国の不平等をなくそう」の実現のため、「地方」に焦点を当てたプロジェクトです。地方出身生の割合を増やし、学生の多様化を推進することで学内の交流を活性化させ、社会課題解決につながるアイデアを生み出すことを目指し、「2030年までに地方出身生の割合を40%までに復活させる」ことを掲げ、入学センターと連携し、入学時や大学生活の不安を解消するソフト面の支援強化を行っています。

2024年4月2日～4月5日と5月7日～5月10日、日吉キャンパスの学生食堂「グリーンズマルシェ」と湘南藤沢キャンパス(SFC)の食堂「タブリエ」において、地方出身生やひとり暮らしの新生入生、留学生等を対象に、それぞれの地元の食文化についての交流を深めながら、健康的な自炊の重要性やコツを学ぶ「よる食堂」イベントを開催しました。イベントでは栄養に関するレクチャーや交流企画などに加えて夕食も無料で提供され、多くの学生が参加し、盛況を収めました。また、地方出身生やひとり暮らしの学生がより充実した大学生活を送れるように支援するため、2024年5月、デジタルパンフレット「Unlimited Vol.2」を作成しました。健康管理や精神的なサポート、交友関係の構築などのソフト面での支援に重点を置いており、奨学金や住居支援、健康管理、履修登録のアドバイスなどの情報をまとめています。



よる食堂イベントの様子



Unlimited Vol.2